
開講科目名：租税法研究III (4単位)

開設年次：1年 2年 3年 4年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：大江 晋也

《授業の概要》

【授業の目標】

本講義では、わが国の租税法について、租税の意義と原則、納税義務の確定手続と納税環境の整備、納税義務の履行・消滅、租税争訟の四つに分けて租税法の体系と基本問題について研究を行う。更に、租税実体法における所得課税を中心とした所得税法・法人税法と相続税法及び消費税法の研究を行う。

【授業の内容】

1. 租税法の体系と基本制度
 - (1) 租税の意義と原則
 - (2) 納税義務の確定手続と納税環境の整備
 - (3) 納税義務の履行・消滅
 - (4) 租税争訟
2. 所得税法
 - (1) 総説
 - (2) 所得の定義
 - (3) 非課税所得
 - (4) 所得の分類と所得税の基本的仕組み
 - (5) 各種の所得
 - (6) 所得の年度帰属
 - (7) 必要経費
 - (8) 損益通算と損失の繰越
 - (9) 所得控除と税額控除
 - (10) 所得の帰属と家族の課税単位
3. 法人税法
 - (1) 法人税の根拠と法人税・所得税の統合
 - (2) 法人税の納税義務者
 - (3) 法人以外の事業形態一組合・信託等の事業体の課税
 - (4) 法人所得の計算
 - (5) 法人税額の計算
 - (6) 法人組織の設立・運用・変更
 - (7) 特殊関係法人の課税問題
 - (8) 国際課税
4. 相続税法
 - (1) 相続税
 - (2) 贈与税
 - (3) 財産の評価
5. 消費税法
 - (1) 概説
 - (2) 「消費税」の課税の仕組み
 - (3) 「消費税」の年度帰属
 - (4) 税率
 - (5) 仕入税額控除
 - (6) 国際取引と「消費税」
6. 地方税
 - (1) 法定外地方税
 - (2) 事業税
 - (3) 住民税

(4) 地方法人特別税

【授業の方法等】

基本的にはテキストを中心とし、必要に応じプリントを配布して、講義を行う。成績評価は、授業の出席状況、議論への参加度合い及びレポートの提出によって行う。

《テキスト》

『租税法』水野忠恒著 有斐閣刊 定価6,200円＋税

《参考書》

『租税法』金子宏著 弘文堂刊 定価5,700円＋税

「税務六法」(法令編)「税務六法」(通達編) (出版社 特定しない。)

『租税法の基礎理論』山本守之著 税務経理協会刊 定価4,410円